

令和3年(2021年)3月4日

職員課

## 教職員の働き方改革について

## 1 勤務時間の現状

## (1)「教職員勤務実態調査」(兵庫県教育委員会実施)

## ア 教員の平日1日当たりの平均超過勤務時間

|     | H24    | H28    | H24-H28 | R1     | H28-R1 |
|-----|--------|--------|---------|--------|--------|
| 兵庫県 | 2時間56分 | 2時間56分 | 増減なし    | 2時間53分 | ▼3分    |
| 宝塚市 | 3時間48分 | 4時間    | +12分    | 3時間16分 | ▼44分   |
| 差   | 52分    | 1時間4分  |         | 23分    |        |

## イ 教員の休日の1日当たりの平均超過勤務時間

|     | H24    | H28    | H24-H28 | R1     | H28-R1 |
|-----|--------|--------|---------|--------|--------|
| 兵庫県 | 1時間44分 | 1時間47分 | +3分     | 1時間26分 | ▼21分   |
| 宝塚市 | -      | 0時間40分 | -       | 1時間31分 | +51分   |
| 差   | -      | 1時間7分  | -       | 5分     |        |

## (2) 記録簿

## 令和元年度(2019年度) 記録簿集計結果

| 宝塚市     | 小学校    |       | 中学校    |       | 前年度との比較<br>小学校 |       | 前年度との比較<br>中学校 |       |
|---------|--------|-------|--------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
|         | 年間     | 月平均   | 年間     | 月平均   | 年間             | 月平均   | 年間             | 月平均   |
| 校長      | 652:08 | 54:20 | 618:53 | 51:34 | ▼26:59         | ▼2:14 | 7:58           | 0:39  |
| 教頭      | 918:46 | 76:33 | 836:25 | 69:42 | ▼101:39        | ▼8:28 | ▼5:45          | ▼0:28 |
| 主幹教諭・教諭 | 508:53 | 42:24 | 708:49 | 59:04 | ▼83:18         | ▼6:56 | ▼73:26         | ▼6:07 |
| 事務職員    | 232:14 | 19:21 | 221:40 | 18:28 | ▼6:35          | ▼0:32 | ▼41:27         | ▼3:27 |
| 養護教諭    | 288:23 | 24:02 | 321:46 | 26:48 | ▼36:50         | ▼3:04 | 18:30          | 1:32  |
| 栄養教諭    | 213:03 | 17:45 | 397:03 | 33:05 | 23:41          | 1:58  | ▼20:54         | ▼1:44 |
| 臨時講師    | 443:16 | 36:56 | 626:07 | 52:10 | ▼115:42        | ▼9:38 | ▼51:30         | ▼4:17 |

## 図書館の運営について

社会教育部 中央図書館

### 1. サービス拠点の整備

～ 市内のどこに住んでいてもサービスを受けうる環境を目指して

- 西谷ゆめプラザ ふれ愛ライブラリー（令和2年8月9日）
  - ・「本のある交流スペース」居心地の良い場所、集いの場として ～書架、雑誌、展示スペース、大きなソファ、机のある席、クラシックな家具…を配置
- 小浜・安倉分室（令和2年10月3日）
  - ・3箇所目の分室、広さを生かして、地域住民に愛される施設に

### 2 中央図書館の整備 ～ 拠点施設としての役割を担うための環境整備

- 歳入確保の取組
  - ・雑誌スポンサーから、飲料自販機、館内広告へ
- 環境整備 玄関前広場と北西側芝生の広場を整備、活用
  - ・確保した歳入により、憩いの場、集いの場として整備し活用する
  - ・玄関前広場は館内では出来ない飲食、談話のできる場所として
  - ・北西側芝生広場は東屋、椅子やハンモックもある読書スペースとして、また屋外イベント・スペースとして
- 大学との連携
  - ・武庫川女子大学と提携、広場の整備や利用法に学生の企画立案を取り込むことにより、図書館利用の少ない層、10代後半から20代の利用を活性化することを図る

### 3 市史資料室 ～ 市の歴史、文化遺産を後世へ伝えていく責務を果たすために

- デジタルアーカイブ
  - ・資料展示、講演会等のイベント、研究紀要の発行に加えて、新たな情報発信の手段として
  - ・助成金を活用して、もともと興味をもち調べに訪れる人だけでなく、全ての市民に郷土の歴史に関する情報を発信する
- 文化財・市史資料整理室（旧山中家）の整備・活用
  - ・際限なく増加する文化財・市史資料の整理と保管施設として旧山中家住宅を整備、活用する

### 4 図書館の新たな機能＝地域の問題解決、居場所としての図書館

- 地域の問題解決に機能する、また、居心地の良い場所としての図書館を念頭に
  - ・定期的な利用者満足度調査、市民アンケートを通じて本当に求められているサービスをリサーチし、不断のサービス向上に努める
  - ・認知症の取組、細川貂々「生きるのへタ会?」、言葉の祭典・ビブリオバトル